

～夢と希望をもち 未来にはばたく つばさっ子～



# つばさ

2月号No.11  
令和8年1月30日  
さいたま市立つばさ小学校

年間重点目標  
廊下は静かに右側歩行をしよう  
2月の生活目標  
感謝の気持ちを伝えよう  
2月の保健目標  
心も体も元気にすごそう



## 残りの3学期、春咲かせる花の準備を

校長 浅野 博一

新しい年がスタートし、1か月が経ちました。新年を迎え、「新しい決意」でスタートしたものの、「なかなか漢字を覚えられない…」「縄跳びや逆上がり、なかなかできない…」「もう、努力したって、無駄なんじゃないか…」子どもたちには、そんな気持ちに負けないで欲しいと願っています。

川に橋を架ける工事は、橋の土台づくりが重要で、期間もたくさん要するといいます。土台づくりは川岸からは一切見えず、「ちっとも、工事が進んでいない」ように思えます。しかし、着実に工事は進み、土台が完成すると、一気に“橋”は完成します。

「努力しても、努力しても、ちっともできない」…でも、今までできなかったことが、ある時、突然、壁を乗り越えて、できるようになる…。そこには、決してあきらめないで、挑戦し続ける姿があるのです。



休み時間、運動場で子どもたちと一緒に大縄をしたり、中には、子ども達に交じって一緒に大縄を跳んで楽しんだりする教員も見られます。「つばさ小学校はいい学校だなあ」と心がほかほかになります。

ある時、低学年の子どもが、「あおり合ってるうちに、けんかになっちゃった。」と校長室に訪れて来ました。

尋ねてみると、けんかしちゃう相手の子とは「一緒に遊んで楽しい！」と感じる時が無いわけではなく、でも、つい「あおり合ってしまう」とのこと。

…私は、自分が小学2年生の頃、3つ年上の姉との姉弟げんかの時のお話をしました。

「校長先生もね、〇〇さんと同じ年の頃は、学校から家に帰ると、よく3つ年上のお姉ちゃんと姉弟げんかをしてしまっただけ。お姉ちゃんは、口が達者で、よくからかわれて、当時の私は、うまく言い返せなくて、つい、手や足を出してしまっただけ…。そうすると、父さんや母さんから、【ひろかず！なんでお前は暴力をするんだ！絶対に暴力はダメ！口で言いなさい！】【寄れば触れば、すぐ、喧嘩して…。もっと、大きな心もちなさい！】とよく叱られたよ。」

低学年の子どもたちの話を聴くと、昔の自分を思い出して、「あの頃の自分も同じだったなあ…」と胸がきゅんとなり、子どもたちがとても愛おしく感じます。トラブルやけんか・もめごとを通して、少しずつ、たくましく自分の心を大きく成長させていってほしいと願います。



左の写真は、1月22日(木)業間休みの時間に、校庭の南、埼京線近くの樹木を撮影したものです。

2月は朝も底冷えがして、布団から出るのがとてもつらい季節ですが、私はこの季節がとても大好きです。

それは、大自然の中で、コツコツと春への準備が見えるからです。

つばさ小学校の子どもたちへも、次の学年への“希望”を語りたと思います。

“もうすぐ、新しい春が来ます。新しい学年が、みなさんを待っています。その春に、どんな花を咲かせるかは、残りの3学期一日一日の努力で決まります。

寒い中で育った花ほど、強く、美しく咲き誇ります。

どうか、今日も一日、決してあきらめないで、自分の芽を大切に育ててください。”

つばさっ子の春を、心から、楽しみにしています。

おめでとうございます！

◆さいたま市書きぞめ展

【推薦賞】

【特選賞】

【優良賞】

◆「住みよい地球」全国小学生作文コンクール 2025

【佳作】

【努力賞】

◆『第58回手紙作文コンクール』絵手紙部門(小学4～6年生の部)

【佳作】

◆第20回全日本小学生・中学生書道紙上展

【準ベスト50】

※小学1年生559作品の出展の中からの入賞となります。

◆令和7年度SAITAMAJrプロモーター動画コンペティション

【優勝賞】

◆日進ステーションギャラリー書きぞめ学校代表作品

◆令和7年度給食標語

【優秀賞】

◆「ぼく・わたしの推し本展～おすすめのPOP展～」

【児童書担当賞】

【店長賞】

【売上賞】

